



正式には聞いていない (官房長官) ? !

正式に要請した認識 (岐阜県知事)

習近平氏来日中止・オリンピック延期決断

共に遅れてコロナ拡大の安倍政権をなぞる菅政権

安倍政権は習近平氏の国費来日の中止をなかなか決断できず、オリンピックの延期決断も遅延し、日本国内のコロナ拡大を止める事が出来なかったと記憶している。菅政権は、延期オリンピックの開催に引きずられて「国民のいのち」を見誤ろうとしている。

官房長官が会見で、記者の質問に「正式には要請（まん延防止）を聞いていない」と回答したことが、放送されて驚き。文書主義ですから、要請文書が出ていないので「正式ではない」と回答するなら、その時間遅れの官僚主義が批判される。現場の刻一刻の悪化を放置する内閣の指導性放棄が問われよう。知事は西村担当相に要請したと報道。(29日)もし「聞いていない」なら内閣の伝達不備。適応見解の差異は閣内不一致。「俺は、聞いていない」と会見で言いたかっただけならば、国民を愚弄する対応と言える。「一年間余のワクチン調達の遅れ、体制未整備を改善・説明してほしい。」との国民の声に、菅内閣は如何、答えるか。

解散時期 国政選挙3敗で 右往左往？

国政選挙で北海道、長野、広島と自公政権3敗。3敗後に東京・大阪でワクチン接種を自衛隊動員して行うと決定。「(解散より)今はコロナ対策」と菅首相は発言。「解散より」ではなく「解散の時期」を失ったのでは？ 「コロナを沈静化し、オリンピック開催。そして解散。」の思惑に引きずられ、変異株の水際対策は「通り抜け」で「前内閣をなぞる」様にみえる。報道には「菅政権では解散は困難」の記事も。

岐阜県では、5月1日には感染者96人と拡大して来た。岐阜市5月5日の感染者は19人。10歳未満～30代13人、40代1人、50代4人、80代1人。県民比率からは、岐阜市はより感染率拡大傾向である。国費予算と人材をコロナ対策に振り向けるために「オリンピック中止」を誰が発言するのか？ 時期が来たようだが「ぶらさがり」の首相の顔色は、いかにも自信の無さが現れている。

2 特別委員会の設置（予定）を確認

岐阜市議会各派代表者会議 **4月28日**

岐阜市議会各派代表者会議は4月28日に、開会し「旧庁舎跡地利用等に関する特別委員会」と「コロナ対策特別委員会」の2特別委員会の設置（予定）について確認しました。正式設置は次回本会議で行われる予定。

コロナ対策は疾病対策だけでなく、経済対策等を含めて広く審議する事が提起されました。コロナ禍も1年余も経過しましたが、終息のきざしどころか、変異株の拡大が現実のものとなっています。もはや「災害」であるとの報道もあります。

岐阜市の全ての施策で「対コロナ」が意識されなければならないわけですが、保健衛生部を離れると、あるいわ、保健衛生部の中でも「そのような判断が、なぜ、できたのか？」と思える整合性の理解困難の施策が、あってはならない。わけです。

3 月議会前に指摘、コロナ対策最優先

3月議会前に市長にご指摘しました。知事選の選挙カーに1回も乗車されなかった古田知事が勝利した状況を理解しなければならない。県民・岐阜市民の関心事は第一義的にコロナ対策でありワクチン対策です。これを見誤って、政策は存在しない。

岐阜市5月5日感染者19人の内10歳未満～20代の患者は10人。延期成人式が中止になり「代わりにする集会を開催する計画に、反対する」市民の声を教育委員会に指摘しました。同じような新聞報道も目にしました。もともと岐阜市の成人式は、校區別開催で少人数ですが、代替集会は一箇所多人数です。一区切りつけて、名古屋大学のように入学式を2年分一緒に開催する方法もあると。

新庁舎の代表電話パンク状態に

パンフレット「新型コロナウイルスワクチン接種のご案内」が自治会ルートで配付されて、しばらくして個人宛に「ワクチン接種券在中」の封筒が届きました。「接種のお知らせ」①接種可能な時期を確認する ② 医療機関接種会場を探す ③ 予約して、ワクチンを受ける とあり **医療機関に直接予約** と **コールセンターの番号**が記載。だが、多くの市民がこのコールセンターの番号へ電話するようで、「コールセンターにつながらない」ので「新庁舎の代表電話」へ電話集中。はじめのパンフレットに予約開始は5月14日～と記載ありますが、ここは読まれないみたいです。

また、病院の一覧表も1回配付しただけでは、十分ではないようです。5月14日からへの準備が必要です。



松原のりかず
☎058-253-2500